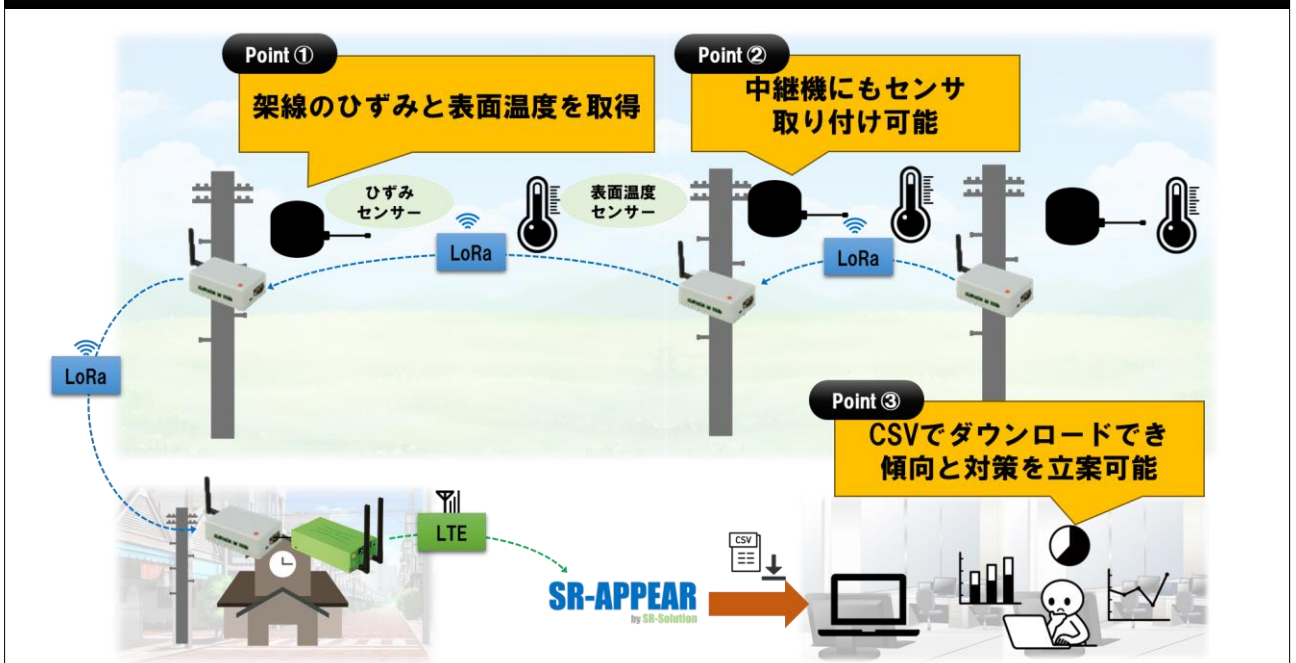


計測ポイントを遠隔地から異常通知『猛暑による架線の歪み監視』

■課題

近年の地球温暖化により、最高気温が更新されるような猛暑が続いています。これにより、架線や鉄橋、地盤などのインフラに大きな負荷がかかり、歪みや垂れ下がりが発生することが増えています。たとえば鉄道においては、架線の異常によって列車の運行に影響を及ぼし、遅延や運休を引き起こす可能性が高まっています。

猛暑による架線の歪み監視



【概要・期待効果】

架線にセンサーを設置して適切な傾向分析と対策が行えます。架線の歪みを把握されたい場合、変位と表面温度を計測することが効果的です。また、センサー計測値が異常値の際、警告灯やサイレン、メール通知などで注意を促します。この仕組みは、アナログセンサーであれば様々なセンサーが取り付けられます。

- Point① 市販されているほとんどのセンサーとシステム連携が図れます。
- Point② LoRa通信の中継局にもセンサーの取り付けが可能です。
- Point③ 様々な拠点の日々蓄積されたセンサー値をCSV形式でダウンロードし、問題の可視化が実現できます。



■ 課題

【概要・期待効果】

